

受講料
無料
事前申込
不要

ご自宅でも参加できます

**オンライン
生配信**



椰慮はこちら

埼玉大学 / 読売新聞さいたま支局 共催
埼玉大学 連続市民講座
part17



1949 - 2029



埼玉大学は2029年に
創立80周年を迎えます

当たり前再発見

～暮らしを支える見えない仕組み～



第1回 5/16(土)
14:00~16:10

人生100年時代を豊かに生きる
ために重要な金融リテラシー

大学院人文社会科学研究所
教授 なかがわ しのぶ 中川 忍

第2回 5/30(土)
14:00~16:00

生活のなかのデザイン心
— 感じることの広がりデザイン —

教育学部
准教授 さくらい りゅう 桜井 龍

第3回 6/13(土)
14:00~16:00

準結晶の数理
— 「当たり前」の物質に潜む
不思議な秩序 —

大学院理工学研究科
准教授 たかはし ゆうき 高橋 悠樹

第4回 7/4(土)
14:00~16:00

プラトンの「イデア論」
— 「当たり前」の背後の哲学的原理 —

大学院人文社会科学研究所
准教授 かわしま あきら 川島 彬

第5回 7/25(土)
14:00~16:10

流域治水を考える
— 学がバーチャルに縦割りを超える意義 —

大学院理工学研究科
教授 こばやし けんいちろう 小林 健一郎

- 手話通訳をご希望される方は、準備の都合上、開催日の2週間前までに問い合わせ先までお申し出ください。
- 未就学児のご入場はご遠慮ください。
- お車で越しの際は正門左手の守衛所にてお手続きした後ご利用ください。(台数制限あり)

(後援)

埼玉県教育委員会 / さいたま市教育委員会 / 埼玉県商工会議所連合会 /
埼玉大通り商店会 / コープみらい / 埼玉りそな銀行 / 武蔵野銀行 / 埼玉縣信用金庫

日時 毎回土曜日 14:00~16:00
(開場13:30、第1回・第5回は16:10まで)

定員 300人 (オンライン生配信の定員はありません)

会場 埼玉大学全学講義棟1号館3階 (1-301講義室)

対象 どなたでも受講できます。
高校生、大学生のみなさんもぜひご参加ください。

お問合せ先

埼玉大学総務部広報渉外課

〒338-8570 さいたま市桜区下大久保255

☎ 048-858-9213

koho@gr.saitama-u.ac.jp

HP <https://www.saitama-u.ac.jp/society/extension/>

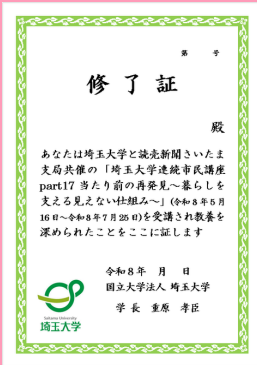
埼玉大学と読売新聞さいたま支局の共催による連続市民講座は、今回で第17回を迎えます。今年度のテーマは「当たり前」の再発見～暮らしを支える見えない仕組み～です。

私たちの暮らしは、多くの見えない仕組みや誰かの支えによって成り立っています。しかし、その大切さは普段意識されることが少なく、日常の景色に溶け込んでいます。

本講座では、当たり前のように感じている日常に目を向け、その仕組みをあらためて見つめ直し、理解を深めます。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

修了証

全5回中、対面またはオンラインにて4回以上受講された方には、「修了証」を授与いたします。



※画像はイメージです

第1回 5/16 (土) 14:00~16:10

人生100年時代を豊かに生きるために重要な金融リテラシー

大学院人文社会科学部 教授 中川 忍

金融リテラシーとは、お金に関する制度や仕組みについての基本的な知識とそれに基づく判断力の総称です。人生100年時代とも呼ばれる超高齢化社会の到来、そして経済社会のデジタル化が急速に進展する中において、金融の常識(当たり前)である金融リテラシーやそれを高めるための金融教育の重要性が注目されています。本講演では、その理由や背景について、私たちの生活に身近なデータや資料を用いて詳しく解説します。



第2回 5/30 (土) 14:00~16:00

生活のなかのデザイン心
— 感じることの広がりデザイン —
教育学部 准教授 桜井 龍

本講座では、日常にひそむ「デザイン心」について考えます。私たちのまわりの光や色、かたちは、知らず知らずのうちにここに働きかけています。そうした感覚の動きを手がかりに、デザインがどのように人と関わるのかを見つめ直します。体験的な関わりも通して、感じることでつくることのつながりを探り、これからのデザインの在り方を考えます。



第3回 6/13 (土) 14:00~16:00

準結晶の数理
— 「当たり前」の物質に潜む不思議な秩序 —
大学院理工学研究科 准教授 高橋 悠樹

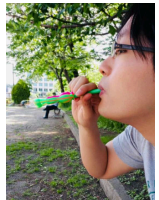
身近な合金や省エネデバイスに潜む「準結晶」は、結晶のように規則正しいと思いきや、繰り返しのない興味深い秩序を持っています。2011年ノーベル化学賞のきっかけとなったこの物質は、力学系やフラクタル幾何学、スペクトル理論などの数学によってその仕組みが解き明かされてきました。本講演では、ペンローズ・タイリングなどの視覚例から「繰り返さないのに美しい秩序」の理由を解説し、暮らしを支える隠れた仕組みを再発見します。



第4回 7/4 (土) 14:00~16:00

プラトンの「イデア論」
— 「当たり前」の背後の哲学的原理 —
大学院人文社会科学部 准教授 川島 彬

プラトンの「イデア論」は、私たちが日常的に見聞きする個々のものの背後に、それらの本質である「イデア」が存在するという考えであり、西洋哲学の源流となる思想です。本講演では、主著『国家』を中心にこの思想の基本を丁寧に紹介し、太陽・線分・洞窟の比喩を手がかりに、プラトン哲学の根幹に関わる論点をわかりやすく解説します。



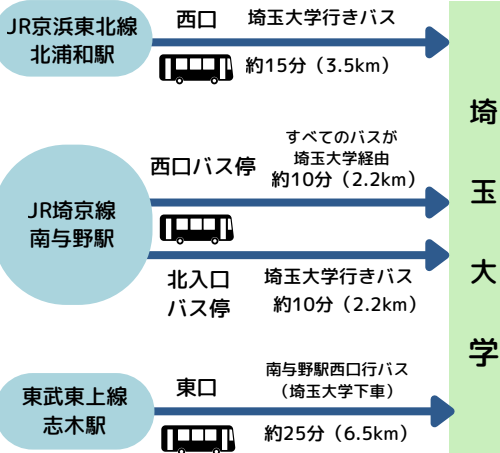
第5回 7/25 (土) 14:00~16:10

流域治水を考える—学がバーチャルに縦割りを超える意義—
大学院理工学研究科 教授 小林 健一郎

2018年西日本豪雨や2019年令和元年東日本台風を契機として、河川中心の治水から「流域治水」への転換が求められ、2021年に関連法が公布されました。しかし、実社会において多主体が協働することは、専門分野や予算の制約により必ずしも容易ではありません。一方、数値シミュレーションでは組織間協議を必要とせず、縦割りを越えた検討が容易です。その成果を通じて、各自自治体がどのように市民の安全・安心を支えているのか、また地下空間、下水道、河川管理、情報システムなど、普段意識されにくい都市基盤の役割をあらためて考察します。



電車での交通アクセス



お車でお越しの方は
ナビに右記の住所を
入力ください



さいたま市桜区下大久保255